

20代議員でも86の実績!

かいでんかずひろ 和弘



現職最年少
29歳

無所属

資格/所属

防災士 / 東京若手議員の会 副代表
子どもの事故予防地方議員連盟 会員

Follow Me! /
区政情報を発信中!
ご相談も大歓迎です



25歳からの4年間、最年少の目黒区議会議員として、30年先を見据えた、若者目線での区政改革を訴えてきました。提案があまりに慣習から外れていて、ときに役所と激しく対立することもありましたが、おかげさまで4年間で270以上の政策提言を行い、その内の86項目で実際に目黒区を変えることができました。

ただ一方で、歯がゆさも。私が最も変えたいと思っているのは、「少子化対策」や「若者の政治参画」などの大きな問題。これまでの4年間にもたびたび、改革の必要性を訴えてきましたが、こうした難題については、区の方針を大きく変えるまでには至りませんでした。

目黒区には、まだまだ、変えたいこと、変えなければならないことが山積しています。

今と30年後の目黒区のために、29歳、働かせてください!

プロフィール



- 1993年 11月23日生まれ
- 2006年 区立原町小学校 卒業
- 2012年 都立桜修館中等教育学校 卒業
都立大学附属高校を前身とする同校の1期生。
- 2016年 北海道大学 法学部 卒業
- 2016年 まちづくりコンサルティング会社 勤務
市区町村の行政計画づくりに携わる中で、若い世代の声が届かない現状に危機感を抱き、政治の道を志す。
- 2019年 25歳で区政史上最年少当選
無所属議員3人会派の幹事長(リーダー)を3年間務める。

趣味/特技

チェロの演奏、剣道(2段)、野球観戦、歴史研究、日本史、鉄道

実績 目黒区のココを変えた!

子育て・教育

- 実現 子どものインフルワクチン補助
- 実現 保育園との連絡をアプリで
- 実現 ベビーシッター利用補助
- 実現 出産時に区独自の助成
- 前進 主権者教育の充実



災害に強いまち

- 実現(予定) 避難情報を自動電話で個別にお知らせ
- 実現 富士山噴火への対策



区役所の改革

- 実現 区公式LINEの導入
- 実現 15年間の財政推計の実施
(過度な負担を先送りしない区政に)
- 実現 予算に関する情報を全てHPに公開



文化・スポーツ

- 実現 図書館の本がネット上で読めるように
- 実現 プールでスマートウォッチ装着を許可

まだまだあります
全ての実績はHPから



1 めぐるの未来は若者が決める 30年先を見据えた区政運営

“今”の政治は、“未来”を変えるもの。未来の責任世代である若者が不在のままでは良いはずがありません。

私自身、若い世代のひとりとして、若者の意見表明の場の創設を訴えるとともに、なかなか声が届かない若者の“思い”を区議会で代弁します。

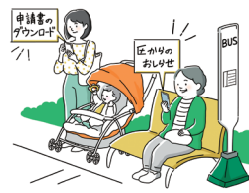
- 未来へ過度な負担を先送りしない政治
- 予算付きの若者議会で、若い世代の提案実現を保証
- 若者支援を増やし少子化対策
- 主権者教育の充実



2 いい加減、昭和の政治はやめましょう 不便・不公平・不合理の打破

行政のデジタル化、大賛成！平成生まれの視点で、“世の当たり前”から周回遅れの“役所の当たり前”を是正します。また、私自身もTwitterやLINEなどで、区政情報をこまめに発信＆皆さまのご相談にお答えします。

- 行政のデジタル化で手続きを簡単に
- 税金のムダ遣いの根絶
- 情報公開の徹底
- 区のお知らせをわかりやすく
- 時代遅れの区議会も改革



3 子どもにやさしいまちはみんなにやさしいまち 理不尽な我慢を見過ごさない福祉

「未来を担う子どもたちには、一番手厚い支援を」がモットー。でもそれは、子どもと高齢者の予算の取り合いではありません。子育て世帯の困難さに配慮できるまちは、どんな困難を抱える方にもやさしいまちなのです。

- 産前産後の負担軽減(健診や産後ケアの充実)
- ランランひろばの充実で、学童不足に備える
- 介護予防につながる活動実施で、区内店舗で使えるポイント支給



4 喉元の手前で、熱さを予期する 災害に強く、美しいまちづくり

議員になってから、全国各地の被災現場を視察したり、防災士の資格も取るなどしながら、「目黒区の災害対策はどうあるべきか」を考えてきました。

- 地震と他の災害の同時発生への備えを
- 防災訓練を楽しめる内容にして参加者UP
- 区内全域を喫煙禁止区域に(並行して屋内喫煙所の整備を)
- 放置自転車の“撤去”から、放置自転車の“予防”へ



5 文化とスポーツで心に余裕と豊かさを “文化縁”のまちめぐろ

音楽、絵画、郷土研究、フットサルなど、地域で活動するサークルの設置や運営を支援して、“好き”を共有する仲間の結びつきを強くすることは、地域のつながりが弱くなる今日、非常に重要です。そんな文化を通じたつながり、“文化縁”の豊かなまちを目指します。

- 図書館の機能充実とイベントの活性化
- 音大との連携で、目黒区を音楽あふれる街に
- 区営プールの継続利用を応援(お得な割引制度の導入)



6 若者のいない町会自治会、見過ごしていいの？ 地域コミュニティの再考

ネットや通販の発展や、共働き・核家族世帯の増加、マンション居住割合の増加など、今の社会は地域でつながる余裕も、必要性も、無くなりつつあります。

地域コミュニティのあり方を再検討するべきです。

- 負担の少ない緩やかな地域コミュニティに
- 住区住民会議と町会・自治会の関係性の整理
- 回覧板の見直しなど、連絡手段の効率化(アナログの情報も残しつつ)



改 田
かいでん和弘 無所属 現職最年少29歳
〒152-0013 目黒区南1-1-11
☎090-3145-1156 ✉kazukaiden@gmail.com

まだまだあります
全ての政策はHPから

